

# プレイの実例

## 1. 戦闘の発生

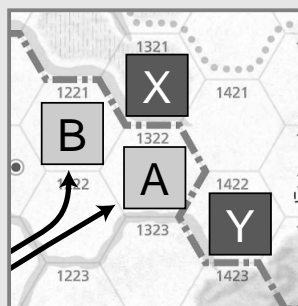
自軍作戦移動フェイズにおいて、ユニットAとBがそれぞれヘクス1322と1221で移動を終了し、敵ユニットXとYに隣接しました。

ユニットBは、隣接する敵ユニットXとの間に(凍結していない)川ヘクスサイドがあるので、攻撃義務を免除されます(7.14項のB)。

しかし、ユニットAは川ヘクスサイドを挟まずに敵ユニットYと隣接しているため、攻撃義務を負います。

この場合、ユニットAは敵ユニットYだけを攻撃することはできず、敵ユニットXとYの両方を攻撃しなくてはなりません(7.110項)。あるいは、実行プレイヤーが望めば、ユニットAで敵ユニットYだけを攻撃し、ユニットBで敵ユニットXを攻撃する形にもできます。

ただし、後者の場合は、一方の戦闘における戦力比が、もう一方の戦力比の「3倍」以内でなくてはなりません(7.33項)。

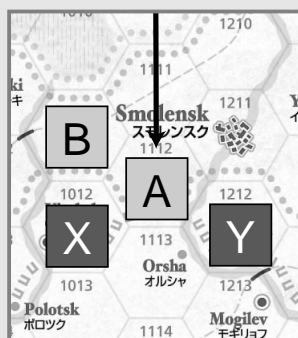


## 2. 戦闘の免除

川は凍結しておらず、ユニットAは自軍作戦移動フェイズでヘクス1112に進入しました。ユニットBは、「分散マーカー」が置かれておらず、その作戦移動フェイズ中に全く移動しないことで「攻撃免除マーカー」が置かれました(上級ゲームの場合は、陣地状態となりました)。

ユニットBは、続く自軍戦闘フェイズにおいて、7.14項のD(上級ゲームの場合は19.13項のD)により、攻撃を免除されます。ユニットAもまた、7.14項のBとFの組み合わせ(上級ゲームの場合は19.13項のBとFの組み合わせ)により、攻撃を免除されます。

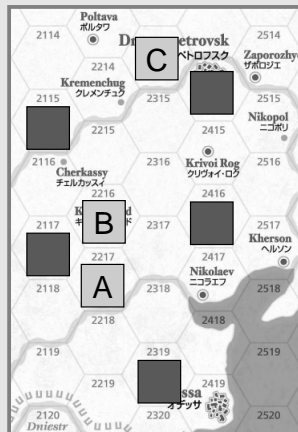
もしユニットAが攻撃を実行するのであれば、7.110項により、敵ユニットXとYの両方を同時に攻撃しなくてはなりません。



## 3. 脱出

ユニットAとBは、補給切れの状態にあり、その味方であるユニットCは補給を受けています。ユニットAとBは「包囲環」を形成しており、自軍戦闘フェイズで一緒に自発的な「脱出」を行うこととなりました(7.76項)。

基本ゲームの場合、ユニットBからCまでの脱出路が3ヘクス以内なので、ユニットAとBは共に脱出に成功し、ユニットを地図上から除去する代わりに、両ユニットの戦闘力からそれぞれ1を引いた合計の戦闘力に等しい補充ポイントを受け取ります。



上級ゲームの場合、ユニットAとBは共に脱出できませんが、途中の損失は基本ゲームの場合よりも大きくなります。まず、ユニットBからCまでの脱出路が、敵ZOCを計2ヘクス通過している(ヘクス2314は19.52項のBにより含まない)ので2戦闘力損失。そして、ユニットBからCまでの脱出路が4移動力(ヘクス2215から2214に移動する際に追加1移動力消費)で、3移動力を1だけ超えているので、1戦闘力損失。合計で3戦闘力を、包囲環全体から追加で失います(19.52項)。

もし、黒海がユニットAとBの属する側の支配下であるなら、AとBの一方または両方のユニットは、ヘクス2417が2418を用いて「海上撤退」を行えます(7.79項)。ただし、1ゲームターンに所有プレイヤーが海上撤退で得られる補充ポイントは、海域エリアごとに各2ポイントまでです。

## 4. 補給線判定(1)

ユニットAは、自軍支配下のミンスク(ヘクス1116)を「補給中継点」として使用しています。ヘクス1115は、一番近い自軍の「補給中継点」まで1ヘクス、一番近い敵の「襲撃の脅威(ユニットX)」まで3ヘクスなので、補給線として使用できます。

この場合、ヘクス1214はユニットAのZOCなので、「襲撃の脅威」までのヘクス数を数える場合には使用しないことに注意してください。



## 5. 補給線判定(2)

ユニットCは、味方ユニットAとBの「補給中継点」として機能しています。しかし、もしヘクス2211のハリコフが「敵支配下の大都市」であるなら、「襲撃の脅威」として機能するので、ユニットAとBは共に「補給切れ」となります。

なぜなら、補給線のヘクス2113から一番近い自軍の「補給中継点」まで2ヘクスですが、一番近い「襲撃の脅威(ハリコフ)」までの距離も同じ2ヘクスとなり、8.13項のBを満たせなくなるからです。

これとは逆に、もしハリコフが「自軍支配下の大都市」であるなら、ユニットAとBは補給を受けている状態となります。ユニットBとハリコフは、共に敵ZOC内にあるため、「補給中継点」として機能しません(8.14項)が、ヘクス2113から一番近い敵の「襲撃の脅威(ユニットY)」までの距離が3ヘクス(2212, 2211, 2111)となり、一番近い自軍の「補給中継点」よりも遠くなるからです(8.13項)。

なお、ヘクス1914の敵ユニットZは、「襲撃の脅威」にはなり得ないことに注意してください。なぜなら、ヘクス2013と2014は、それぞれユニットBとユニットCのZOCであり、8.15項のAに示された条件を満たせないからです。

